

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2018年(平成30年)11月1日 《年6回・奇数月発行》

会報 第103号

特定非営利活動法人(NPO法人)
21世紀のカンボジアを支援する会

(AAC21) ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao, Khan Por Senchy
Khan Por Senchy, (Borey Newtown) Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】AAC21 検索

【公式ブログ】メコンの風に吹かれて 検索

今年の夏は、集中豪雨、熱波、台風、地震が次々と日本列島を襲い、甚大な被害を受けた。地球温暖化がもたらした、世界的な異常気象の一端なのかもしれないが、被害が年々拡大しているように見える。

私の浅い知識によれば、日本人の祖先は元々災害の少ない中国大陸にいたが、戦いに敗れて極東の日本列島に逃げ込んだそうだ。

しかし先人たちは、自然災害と戦って、欲待してくれた。教育支援活動を始めて15年、ボートでの里子訪問は初体験だった。

自然災害との戦いは果てしなく

NPO法人21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸恒次

石川桂さん(本会理事・相談役、愛知県安城市在住)の資金協力により建設中だった「ジー・ボア小学校」(コンボンチャムスレイソントー郡、生徒数150人)の新校舎がこの程完成、9月16日、カンボジア王国政府主催の贈呈式が校庭で行われた。

式には、校舎を寄贈した石川相談役を始めとする愛知県安城市在住の4名、「在カンボジア王国大使館」から松本二等書記官、「カンボジア王国政府」副長官ら多数の要人、地元から多くの村民や生徒たち、約500人が出席した。本会からは根岸理事長が出席して挨拶を述べた。



あいさつする石川桂さん

そのことを知った石川さんは村民の皆さんに心打たれ、残りの建設工事資金を石川さんが支払うことで合意し、この程完成にこぎつけた。

新校舎は4教室でレンガ造りの平屋建て。11月の新学期から本格的に利用が開始される。

事が中断していた。



4教室の立派な校舎

9月16日、「ジー・ボア小学校」に新校舎を寄贈したことでの、堀之内在カンボジア日本国大使が大使公邸にて招待され、昼食会を催してくれた。

招待されたのは、校舎を寄贈した石川桂さんを始めとする愛知県安城市在住の皆さん(4名)。本会の根岸理事長も招待された。大使の赴任先が安城市と姉妹都市だつたことや、石川さんが趣味でしている篆刻にまで話がおよび、有意義な2時間だった。



昼食会終了後大使公邸にて

日本国大使館より
在カンボジア
昼食のご招待



冠水した道路上をボートに乗って

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集



里親さん、ありがとう

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば73年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくれました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【教育里親会員】子ども1人につき 1年間3万円。

・内訳

子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)

年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)

・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。

・一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらも可。

所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。

・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。

(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)

・年3回実施の「里子訪問の旅」に参加し、里子に会うこともできます。

夢ホームから 社会へ巣立つ

2009年に開園した当初から夢ホームで暮らしていたスレイコーンちゃん(20歳)がこの程高校卒業試験に合格、めでたく夢ホームを卒園した。

スレイコーンちゃんは両親を亡くし、小学校3年生のとき夢ホームへ入園した。以後中学、高校と近隣の学校を卒業、現在はプノンペン市内の現地事務所に身を寄せていて、雑務を手伝っている。

将来は英語を勉強したいということで、来年以降、専門学校か大学への入学を目指している。



児童養護施設 夢ホーム日記

カンボジアのコンボンスブー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても不遇な家庭環境にある子どもたちの教育と生活の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園しました。

現在11歳~18歳の男女11人が暮らし、近隣の小・中・高校に通学しております。

■長いお休みに入り帰省しました

9月から10月末日まで、カンボジアの小・中・高校は長い休みに入った。

この間にお盆もあるため、子どもたちは9月21日から約1ヶ月間、生まれ故郷に帰省した。

親のいない子も、親戚のいる故郷が恋しいようだ。



村西様より折り紙と教本を頂きました

カンボジアの小学校に1つの井戸が完成

9月11日、根岸理事長が出席して「アンクナーア小学」(コンボンスブー県)で井戸の贈呈式を行った。カンボジアは長いお休みに入ったが、式に参加するため、生徒たちが登校してくれた。

井戸は、「北海道札幌手稲高校家庭クラブ」の皆さんに寄贈してくれた。

きれいな水が豊富に出て、生徒たちはこぞって水を求めていた。



9月に完成した井戸の内訳

寄贈者名	学校名	生徒数	所在地(県名)
1 北海道札幌手稲高等学校 家庭クラブ	アンクナーア小学	419人	コンボンスブー県

※通算の井戸設置数(2003年~):327基(9月現在)

9月19日～21日、「アジアのデザインアート」の展覧会と「クメール美術」に関するシンポジウムが、ブノンペン市内の「カンボジア日本人材開発センター(CJCC)」(糸ホール)で開催された。夢ホームの子どもたちも招待され、デモンストレーションなどに参加した。

9月19日～21日、「アジアのデザインアート」の展覧会と「クメール美術」に関するシンポジウムが、ブノンペン市内の「カンボジア日本人材開発センター(CJCC)」(糸ホール)で開催された。夢ホームの子どもたちも招待され、デモンストレーションなどに参加した。



夢ホームからも参加しました

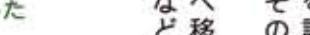
アジアのデザイン アート展など開催



里子を訪問した里親の竹内さん

9月19日～21日、「アジアのデザインアート」の展覧会と「クメール美術」に関するシンポジウムが、ブノンペン市内の「カンボジア日本人材開発センター(CJCC)」(糸ホール)で開催された。夢ホームの子どもたちも招待され、デモンストレーションなどに参加した。

9月19日～21日、「アジアのデザインアート」の展覧会と「クメール美術」に関するシンポジウムが、ブノンペン市内の「カンボジア日本人材開発センター(CJCC)」(糸ホール)で開催された。夢ホームの子どもたちも招待され、デモンストレーションなどに参加した。



夢ホームからも参加しました

国学院大學国際協力サークル 「優志」が活動



飴をありがとう

9月12日～14日、根岸理事長が里子訪問、夢ホームを訪問する中で、日本から持参した会員様からの寄贈品を子どもたちに配り、喜ばれた。※届けた品物と寄贈者名は次の通り。

・飴ほか雑貨(岩橋様)
・ぬいぐるみ(加藤様)
・学用品など(竹尾様)
・夢ホームへ折紙と教本(村西様)



日本的学生団体「WHD」(大江航平代表)が9月4日、カンボジアの首都ブノンベンにある「オリンピックスタジアム」で第3回「ドリームチャレンジカップ」(サッカーの大会)を開催した。本会が関係する小学校からは、昨年の第2回大会は1チームが参加したが、今年の大会には2チームが参加、良い成績を修めた。

「ドリームチャレンジ カップ」に 2チーム出場

日本的学生団体「WHD」(大江航平代表)が9月4日、カンボジアの首都ブノンベンにある「オリンピックスタジアム」で第3回「ドリームチャレンジカップ」(サッカーの大会)を開催した。本会が関係する小学校からは、昨年の第2回大会は1チームが参加したが、今年の大会には2チームが参加、良い成績を修めた。



夢ホームを訪問しました

書き損じハガキ・未使用切手・商品券等を お送りくださいませんか

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。



農村の売店で売っているのを見かけました。子どもたちのおやつとして好評です。一体何を焼いて売っているのでしょうか? (答えは4ページ下段の事務局便りにあります)

さて、何を売っている のでしょうか?

